Creative Enzymes®

Pseudomonas fluorescens由来のマンニトール脱水素酵素、組換え

Cat. No. NATE-1114

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、マンニトール2-脱水素酵素（EC 1.1.1.67）は、次の化学反□を触媒する酵素です：D-マンニトール + NAD+ ↔ D-フルクトース + NADH + H+。したがって、この酵素の2つの基質はD-マンニトールとNAD+であり、3つの生成物はD-フルクトース、NADH、およびH+です。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、特にNAD+またはNADP+を受容体とする供与体のCH-OH基に作用するものです。この酵素はフルクトースとマンノースの代謝に関与しています。
別名	マンニトール脱水素酵素; D-マンニトール脱水素酵素; マンニトール脱水素酵素; マンニトール2-脱水素酵素; EC 1.1.1.67; 9001-65-4

製品情報

由来	フルオレッセンス pseudomonas
形態	液体
EC番号	EC 1.1.1.67
CAS登□番号	9001-65-4
分子量	~ 56.7kD
活性	~ 40 U/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 8.6および25°CのTris-HClバッファー中でD-マンニトールの存在下において、NAD+から1μmoleのNADHを生成するために必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	4°C